

労働力調査（基本集計）

平成24年10～12月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

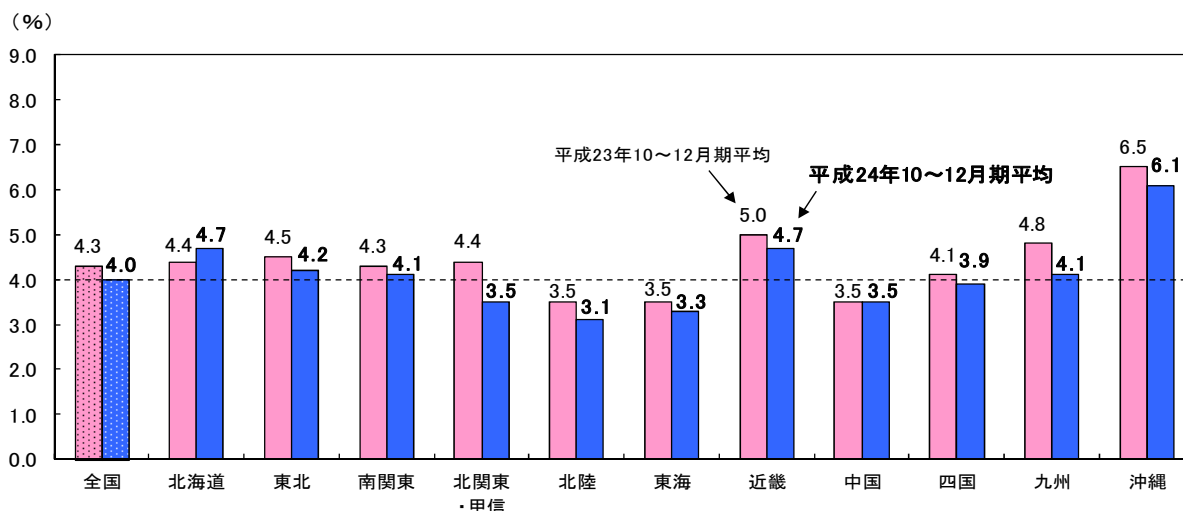
- ・ 就業者数は6282万人と、前年同期に比べ10万人の減少
- ・ 完全失業者数は263万人と、前年同期に比べ19万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は4.0%と、前年同期に比べ0.3ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、北陸、中国、四国及び九州は減少、東北、東海、近畿及び沖縄は増加
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿及び九州は減少、北海道、中国、四国及び沖縄は同数
- ・ 完全失業率及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道……………4.7% (0.3ポイント上昇)	近 畿……………4.7% (0.3ポイント低下)
東 北……………4.2% (0.3ポイント低下)	中 国……………3.5% (前年同期と同率)
南関東……………4.1% (0.2 〃)	四 国……………3.9% (0.2ポイント低下)
北関東・甲信…3.5% (0.9 〃)	九 州……………4.1% (0.7 〃)
北 陸……………3.1% (0.4 〃)	沖 縄……………6.1% (0.4 〃)
東 海……………3.3% (0.2 〃)	

図1 地域別完全失業率



注) 九州及び沖縄の平成23年10～12月期平均は、新基準で遡及集計した数値

◎ 地域別結果について、これまで九州と沖縄については、「九州・沖縄」として公表してきましたが、平成24年1～3月期平均結果から「九州」と「沖縄」とを別々の地域として公表しています。

◎ 平成23年1～3月期から7～9月期までの全国及び東北については、補完推計値を参考値として用いています。

◎ 各項目（比率を除く。）の原数値に係る対前年同期増減については、新基準で遡及集計した数値と比較しています。